

回復期リハビリテーション 病棟のご案内

安心の地域医療とチーム医療で
質の高いリハビリテーションを提供します



東京病院までの 交通のご案内

- 清瀬駅までのアクセス
 - 池袋から西武池袋線快速・準急で 約22分
 - 新宿からJR埼京線または山手線で池袋乗換で 約36分
 - 新宿から都営大江戸線の練馬乗換で 約40分
 - 渋谷から東京メトロ副都心線直通の乗換なしで 約39分
- 西武池袋線『清瀬駅』ご利用の場合
 - 南口2番乗り場より西武バス(約6分)
 - ①「花小金井駅」行／「下里団地」行／「滝山営業所」行にて『東京病院玄関前』で下車
 - ②「久米川駅」行にて『東京病院北』で下車
 - タクシーにて約5分
- JR武蔵野線『新秋津駅』ご利用の場合
 - 直通無料シャトルバスにて約15分(時刻表は病院H Pに掲載)
 - タクシーにて約10分
- 西武新宿線『久米川駅』ご利用の場合
 - 北口3番乗り場より西武バス(約19分) 「清瀬駅南口」行きにて『東京病院北』で下車
- 西武新宿線『花小金井駅』ご利用の場合
 - 北口3番乗り場より西武バス(約29分) 「清瀬駅南口」行きにて『東京病院玄関前』で下車
 - ※「花小金井駅入口」バス停からの「清瀬駅南口」行きは東京病院に行きません。ご注意ください。
- お車をご利用の場合
 - 駐車場：265台収容可能

リハビリテーションの伝統と実績が誇りです。

当院は、わが国初のリハビリ学院発祥の歴史と専門病棟35年の臨床実績があります。新たな体制にもその特色を生かし、更なる進化を目指します。



住みなれた街で自分らしく暮らしたい。 そんなあなたとご家族を応援します。

回復期リハビリテーション病棟

脳血管疾患や大腿骨頸部骨折、様々な疾患治療中の安静などにより、身体機能の低下や日常生活上の困難をかかえた患者様を対象に、多職種チームによる専門的なりハビリテーションを行い、可能な限りの生活機能改善と在宅復帰を目的としたリハビリテーション専門病棟です。



理学療法



対象疾患

- 脳血管疾患、頭部外傷などの発症または手術後2ヶ月以内
- 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、膝関節などの骨折または手術後2ヶ月以内
- 外科手術や肺炎などで治療時の安静により生じた廃用症候群を有し、原因となる手術や疾患の発症から2ヶ月以内
- 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の神経・筋・靭帯損傷後1ヶ月以内

これらの状態にある方、並びにこれらに準ずる状態にある方について、入院適応を検討させていただきます。



リハビリテーションチーム

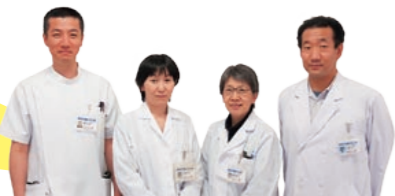


作業療法



医療福祉相談

主治医がチームの
責任者です



さまざまな専門職種がチームを組み、患者さんをサポート。

専従リハビリテーション 専門医が主治医です

複数のリハビリテーション科医師が、基礎疾患の管理と科学的予測に基づいたリハビリテーションを行います。主治医とチームの責任者を兼ねることで、より安全で質の高いリハビリテーションを提供します。

介護保険サービスと連携し 退院後の在宅療養を支えます

通所(介護・リハビリ)、訪問(医療・看護・リハビリ・介護)、ショートステイ、家屋改修・福祉用具など、ケアマネジャーともきめ細かく連携し、安心して自宅に帰れるケアプランを作成します。

リハビリテーションの専門家が 多職種チームで支えます

医師、看護師、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)、医療ソーシャルワーカー、栄養士、薬剤師、歯科衛生士など、チームワークには30年以上の実績と自信があります。

豊かな自然環境と交通の便にも 恵まれた理想的な療養環境です

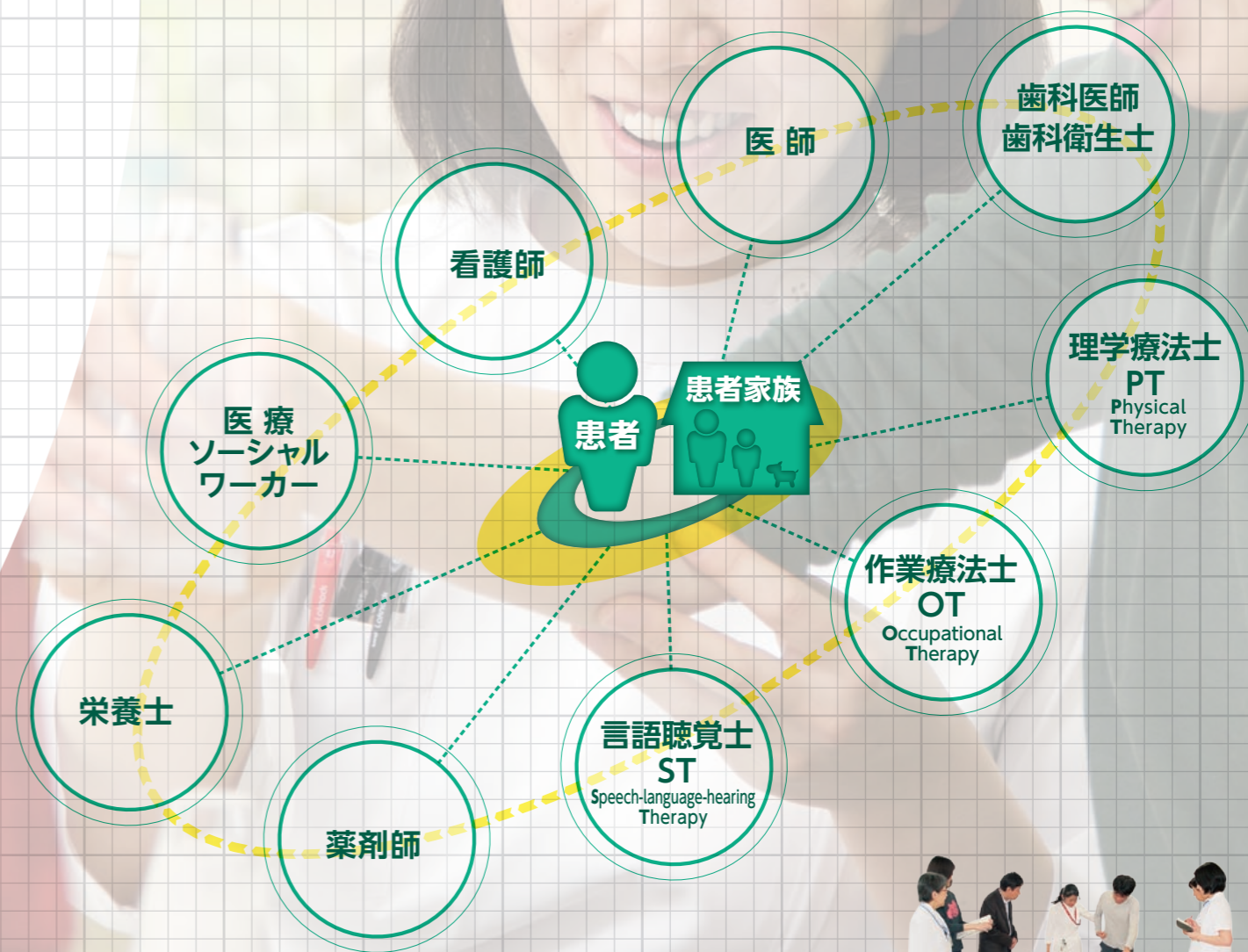
春は梅・辛夷・桜が次々と開花し、秋は美しい紅葉が希望を後押ししてくれます。西武池袋線「清瀬駅」からは、東京病院玄関前に停まる路線バスがあり、病院とJR「新秋津駅」間にはシャトルバスが運行されています。

合併症にも 可能な限り対応します

呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、消化器外科、循環器科、神経内科、整形外科、眼科、耳鼻科、泌尿器科、歯科など、院内のすべての科と連携して治療できます。必要と判断すれば専門医療機関とも連携します。

リハビリテーション・チーム

リハビリテーションには多くの職種が関わっています。当院では、様々な専門職がリハビリテーション科専任の医師の元に患者さんを中心としたチームを組み、全ての職種が情報を共有し、共通の目標に向かって安全で質の高いリハビリテーション医療・看護を提供しています。定期的なカンファレンスを重ね、家庭に戻ったときを想定した「その人らしい生活」の実現を目指して全員の知恵を結集しているのが当院のリハビリテーション・チームです。



チームでサポート!



きめ細かいカンファレンスで、安心と納得の退院へ。



情報の共有化がキーワード

「情報の共有化」は最も重要なキーワードです。リハビリテーションには多くの職種が関わっています。当院では様々な専門職種のスタッフがリハビリ科専任の医師の元に患者さんを中心としたチームを組みます。そして、すべての職種がすべての情報を共有し質の高いリハビリテーション医療を提供しています。

定期的なカンファレンスを重ね、「その人らしい生活ができること」を目標に全員の知恵を結集しているのが当院のリハビリテーション・チームです。

Rehabilitation
episodes



リハビリテーション開始

- 入院後すみやかに訓練が始まります。



初期カンファレンス

- 入院1週間後の状況をチーム全員で確認し、今後の方針と目標を共有。
- 随時リハ・ミーティングで情報共有。



家族指導の様子

家屋評価・改修の提案 試験外泊、家族指導

- 在宅に向けて、家屋改修の提案や自宅の環境に合わせた訓練を行い、試験外泊や、栄養指導・服薬指導。



入院日カンファレンス

- 医師の診察と医療ソーシャルワーカーとの面談。
- リハビリ担当者の病室訪問と簡単な評価。
- 医師・看護師・リハビリ担当で初回の情報共有と注意事項確認。



リハビリ・カンファレンス

- 医師・看護師・医療ソーシャルワーカー・PT・OT・ST・栄養士がそれぞれ結果報告を行い、問題点と今後の方針、退院時期と必要な準備などを決定。



退院前カンファレンス

- ケアマネージャーとご家族を交え、患者様の状態を確認した上で具体的な退院日とケアプランを決定。